



未来へつなげよう おいしい食卓！

大和郡山市田中町 913-3 TEL:0743-58-5225
6月供給高 5624.4万円 (前年比 107.0%)
6月組合員数 3,047人 (前年比 101.5%)

検索してみる

生活クラブ奈良

「生協だからいい組合員とむかい」

2019年6月12日(水) 10時~12時
DMGMORIやまと郡山城ホールにて
第13回 通常総代会が開催されました。
総代100名中、出席総代は99名でした。
(本人出席38名・書面議決書出席61名)

総代の皆様ご出席いただきありがとうございます。
今年度は理事改選で理事の人数が活動を豊かに進めるためには不安があります。が、丁寧に行える事から進めていきます。エリア運営メンバーも足りない現状がありますので、活動の担い手の輩出のための活動提案も同時に進めていきます。

エリア運営を進めます

奈良・生駒・中南部の3エリアは運営そのものに変更はありませんが、エリア

議案(賛成多数により、すべて承認)

- 第1号議案 2018年度活動報告承認の件
 - 第2号議案 「みなし脱退」処理に関する2月度理事会決定の報告承認の件
 - 第3号議案 2018年度決算報告及び剰余金処理案承認の件
 - 第4号議案 2019年度活動計画及び事業計画案承認の件
 - 第5号議案 2019年度役員報酬限度額承認の件
 - 第6号議案 次期役員選挙管理委員選任の件
 - 第7号議案 役員選出の件
- (特別決議 出資金の継続積み立てに関する特別決議)

1年かけて組合員から意見、要望を聞きとり、地域で人と人のつながりを作るための「仕組み」を作ります。
(理事長 甲斐京子)

たすけあい制度エッコロ 共済を立ち上げます

加入1年以内の組合員の脱退が多いことから、新規加入者へ企画参加を呼び掛け、生活クラブの良さを伝えていくことから始めていきます。

新規加入者フォローを進めます

今まではエリア内の組合員同士で「コミュニティを立ち上げましょう」でしたが、今年度は奈良全体で活動したいメンバーが集まって活動ができるように修正しました。闊達な活動を期待します。

コミュニティ活動を進めます

この企画提案を組合員の参加を増やすために、それぞれのエリアの企画チラシを全組合員に配布し、広く参加を呼びかけることにしました。ここ数年の組合員の活動参加の減少の解消と私たちの活動の一つでも多く知ってもらう機会になればと思います。

理事からひとこと

斑鳩在住、中南部エリア担当。夫、小3、小1の子ども、奈良の山で迷子になって保護されたウサギ、いかるがの溝出身のカメとヨシノボリ、ベランダの切り株に産み付けられた30匹ものカブトムシの卵 だいたい絶賛蛹(サナギ)中、と共同じ屋根の下で暮らしています。

四季折々の食材を、その裏にある生産者の物語とともに味わう環境のこと(石鯨生活・エネルギーなどを楽しんでいきます)、微力ではあるけれど一人一人にできることは何なのかを考えながら、無理せず取り組める気軽さに惹かれて、生活クラブを楽しんでいます。食のこと、環境のこと、子育てのことなど、ざっくばらんに話し合える場を、組合員や、そつでない方も交えながら、広げていくことができればと、思っております。

(理事 夏目有香)

現在2歳の娘を育児中。娘の子供達、何世代も先に私達が残せるものは何か？を考えている時に生活クラブと出会いました。

最近では、TPPにより遺伝子組み換え食品の大量輸入や種子法廃止等の食の安全への不安、東日本震災から8年、その後の原発問題、放射能汚染土の全国

での再利用等、このような情報に日々困惑しております。生活クラブと出会い前向きな気持ちで芽生え、私にできることは何かを考え始めました。情報量に溢れ、何が正解かを選ぶのが難しくなっている時代。だからこそ自分で考えること、情報を選びとること、知らなくて大丈夫。ではなく自ら動き知ること。それが何よりも大切と考えます。

私は生活クラブの持続可能な生き方「10のthink&act」にとても共感しております。より良い未来のために、子供達のために、より多くの方に生活クラブを知っていただけるよう努めたいと思っております。(理事 伴舞)

この2年間で交流会や研修という時間を持ち、組合員、生産者、生活クラブという立ち位置が見えてきました(なんとなくですが...) 組合員の皆さん！ただただ消費材を利用するだけでは人生半分損をしますよ！今年度はエッコロの立ち上げに力を注ぎます。生協だからこそできる助け合いの活動だと考えています。それって何？私も仲間になれるの？入れるの？と、疑問を持ってください、交流会でお話します。この一年は充実した時間を共有できるように、皆さんとたくさん会えることを第一に考えます。(理事 合田淳子)

生活クラブは、「食べ物(Food)」「エネルギー(Energy)」「福祉(Care)」という生きていくために欠かせない大きな3つの分野を、できる限り自給・循環できる仕組みにするべくチャレンジを続けている生協です。そういう生協の組合員であり又理事として、意識を高く持つていかなければと身が引き締まる思いです。

特に、毎週の共同購入を通じて私達に最も身近な「食べ物(Food)」については、組合員と生産者の信頼関係に基づく持続可能な(サステイナブルな)関係がますます強くなる事を目指して、多くの組合員の皆さんと一緒に活動できるよう頑張ります。

(理事 堀口雅子)



組合員の皆様

みんなで「仕組み」を作しましょう!